

すずかけ

「すずかけ」は…調布市内で子育てや障害のある人に関わる支援を行う「調布市社会福祉事業団」の活動や仲間を市民の皆さんにより広く、親しみを持って知つてもらうためのフリーペーパーです。



表紙イラスト:「職員の似顔絵」木村隆

2024年から新たにスタートした
「ワークライフカレッジすとっく」と「デイセンターまなびや国領」
をご紹介!

市内の保育園や学童などで愛され、
アレルギーのある子どもたちも一緒に食べられる
「すまいる」のパン



WEBサイト



みんなのちょーじー！4コマ漫画

事業団キャラクター「ちょーじー」をモチーフに、児童館や学童クラブを利用する子どもたちが描いた4コマ漫画をお楽しみください。また「すずかけ」では引き続き「ちょーじー」の漫画を募集中です！



求人情報

私たちといっしょに働きませんか？
調布市社会福祉事業団では、
事業拡大に伴い職員を募集中です。
皆さまからのご応募をお待ちしております！

詳しくはこちらから /



編集後記

記念すべき創刊号をお届けします！私たちにとって初めての広報誌。障害福祉、子育て支援、事務局など、いろいろな部署の力を合わせて作り上げました。福祉の現場は、驚きや笑いにあふれたワクワクの連続です。そんな日常を地域の皆様にも知つてもらえると嬉しいです。次号もお楽しみに！

発行

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
〒182-0032 東京都調布市西町290番地4 知的障害者援護施設内
TEL:042-481-7493

編集・制作協力: con*tio
デザイン: 深上恵美子
2025年10月発行

木村隆さん

事業団のヒト



事業団のモノ すまいるの給食パン

「アレルギーの子どもたちが安心して食べられるパンはありますか？」ある保育園から受けた一本の電話が始まりました。

知的障害者の方たちが通う「すまいる」では、利用者さんたちの自立と社会参加の一環として25年前からパンの製造販売を事業とし、当法人が運営する店舗「ほっとれる」や近隣の施設での販売のほか、地域のイベントへも積極的に参加して、手作りの焼きたてパンを届けていました。

そして9年ほど前、たまたま私たちのパンを手に取った保育園からのお問合せがきっかけとなり、アレルギー対応のパンを開発することに。試作と試食を重ね卵を一切使用しない（必要に応じて乳も不使用とする）ロールパンの商品化に成功しました。アレルギーの子どもたちが安心して食べられる給食パンは、あつという間に調布市内の栄養士さんたちの間で「口コミ」として広まり、現在は6つの園に週2回程度、メニューに応じて食パンやロールパンなどを納品しています。

今では保育園のみならず、学童クラブや児童館からの注文をいただくことも。季節のお祝い時にはわくわくするような形のパンを作つてお届けしたり、また勤労感謝の日には子どもたちからも手作りプレゼントをいたたくといった交流が生まれ利用者さんたちにとっても大きな励みにつながっています。



「すまいる」のパンをみなさんも味わってみてください。すまいる本店（飛田給駅徒歩15分）・ベーカリー・カフェほっとれる（国領駅徒歩5分）にて販売中

今回「すずかけ」創刊号で、表紙に掲載した外観イラストを描いた木村さん



調布市で生まれ、25年前に調布市社会福祉事業団の「な」に入所し、日中は「すまいる」にてパン作りや配達、イラスト作成などの仕事をしながら暮らしています。生活の場である「な」でも大好きな車や家電にアレンジを加えて描いたり、自分が食べたいメニューなど、「うだつたらいいな」と思つことを田頃から絵や文字で書くことが日課となつています。

毎年末になると、職員が乗つっている車、家電、木村さんの好きなテレビ番組などをモチーフに、渡す人それぞれに絵柄を変え、宛名面もびつしりと文字で埋め尽くした渾身の手書き年賀状の作成が始まります。木村さんの周りには毎年どんな年賀状が届くか楽しみにしている人がたくさんいます。

また、家電や音楽と趣味も多く、特に着物については、土日祝日にお気に入りの羽織袴を着て過ごすなど、木村さんの日々の暮らしは、たくさんのがだわりであふれています。



2F ワークライフカレッジすとっく

18歳以上の障害のある方たちが、将来自分らしい生活を営めるよう、社会参加できるよう、知識や経験を「すとっく」する場として2年間通います。「就労移行支援」事業では、清掃などの作業を通して就労スキルを高め、求職活動や就職後の職場定着のための支援なども行っています。「生活訓練」事業では、調理・音楽・アート・勉強会など様々な体験を通して生活力や興味の幅を広げることを目指します。都内にもこうした施設は珍しく、調布市の新たな取り組みとしてがんばっています。



国領駅前の子ども家庭支援センター「すこやか」でも清掃のお仕事をしています!子どもたちが大好きなボールプールなど、たくさんのおもちゃを清潔に保っています。



市内にお住まいの重度重複障害の方のための通所施設です。日々15名程の利用者さんが、様々な活動や行事を通して、楽しみややりがいのある生活を送っています。入浴サービスや機能訓練、医療的なケアやグループホームのバックアップも行い、重度の障害があっても住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう支援しています。



【まなびやの歴史】どんなに障害が重くても“地域に通える場所を”という願いから、前身となる「まなびやクラブ」という課外活動の場が、総合福祉センターの一室でスタートしたのは1983年のこと。また1992年柴崎に「大町生活訓練施設(通称:第2まなびや)」も開設され、この2つの場を2000年に市の事業から当法人が引き継いだのち、2007年西町にて「デイセンターまなびや」として統合しました。そして2024年、さらなる利用者増により「デイセンターまなびや国領」を開設し、「デイセンターまなびや西町」との2拠点で新たなスタートを切りました。令和のこの時代、オンラインで運動会の応援合戦をしたり、お互いの施設に遊びに行ったりと楽しくにぎやかな「まなびや」。これからも進化し続けていく「まなびや」に注目です!

2024年春
国領7丁目に2つの施設が
オープンしました!



\わたしたちの活動拠点/
MAP
調布市社会福祉事業団

それぞれの場所が、たくさんの笑顔と物語でいっぱいです。
普段何気なく通り過ぎていた場所が、
誰かの大切な「居場所」として輝いている場所かもしれません。
あなたと私たちの「つながり」が見つかるかも。

通う
暮らす
子ども

障害のある方が日中に過ごしたり、働いたり、
いろんな目的で通う場所。ベーカリー&カフェ
「ほっとれ～る」も大人気!

障害のある方が安心して暮らす施設やグループホームが市内各所に。都内でも珍しい体験型グループホームもあります。

地域の子育てや発達をサポートする「すこやか」「あゆみ」や、子どもたちが放課後に楽しく過ごす学童クラブ、あそびば。児童館も!

1F 調布市デイセンターまなびや 国領

